

報道関係各位

2021年2月5日

LIXIL 2021年3月期第3四半期決算(IFRS) 変革の取り組みの着実な進展により回復基調継続 通期業績予想を上方修正

- 第3四半期には全事業が回復基調
- 2021年3月期通期業績予想は、事業利益、最終利益とも上方修正

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は本日、2021年3月期第3四半期の決算を発表しました。

LIXIL 社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、私たちの生活に加え、国内外の事業活動や市場に引き続き影響を与えていますが、LIXIL は消費行動や需要の変化に迅速に対応したことで、第3四半期は好調な業績を達成することができました。

軟調な経済状況の下で売上収益は減少したものの、変革への取り組みを継続し、組織の機動力と回復力を高め、生産性を向上させることで、増益を達成することができました。これを受け、通期の業績予想も上方修正しました。

また、水まわりと住宅建材事業を基幹事業として位置づけ、事業ポートフォリオの最適化をさらに進めることで、財務体質を着実に強化しつつ、長期的に高い収益性の確保に取り組んできました。

今後も、変革の推進が最優先事項となります。持続可能な成長を通じて、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいの実現に向けて、より機動的で起業家精神にあふれた組織の構築に注力してまいります」

➤ 決算の概要（第3四半期累計）

売上収益

LIXIL の 2021 年 3 月期第 3 四半期（9 か月累計）の売上収益は、前年同期比 10%減の 1 兆 355 億円となりました。国内事業は、前年同期比 11%減の 7,707 億円でした。COVID-19 の影響による新設住宅着工戸数の減少や、消費需要の減退、前年の消費税増税後の需要減を受け、すべての国内事業において減収となりました。しかしながら、第 2 四半期から第 3 四半期にかけては、回復基調で推移しました。水まわり事業を手がける LIXIL Water Technology (LWT) と住宅建材事業を展開する LIXIL Housing Technology (LHT) では、ニューノーマル下の新たな消費者ニーズに応える製品への需要の拡大が継続しました。リフォーム向け商材の 9 か月累計の売上は、第 1 四半期におけるショールーム来場者数の制限によって減少したものの、リフォーム商材売上比率は前年並みの 37%まで回復しました。例として、LHT のリフォーム用シャッターの売上は前年比 72%増、玄関用収納網戸は前年比 63%増、LWT のタッチレス水栓ナビッシュは前年比 64%増となりました。

海外事業の売上収益は、COVID-19 の影響による需要減退により、前年同期比 6%減の 2,805 億円、為替の影響を除く現地通貨ベースでは 4%減でした。一方で、海外の水まわり事業は、堅調な米国と EMEA（欧州・中東・アフリカ地域）市場がけん引し、第 2 四半期から第 3 四半期にかけて、回復基調で推移

しました。小売とeコマースの売上が好調で、米国は9か月累計で前年並みの売上を回復、EMEAでは前年同期比3%増となりました。中国市場は、好調な商業プロジェクトに支えられ、前年同期比1%減まで売上が回復しました。一方、アジア太平洋地域では、ロックダウンの影響と景気低迷により9か月累計で、売上収益は前年同期比13%減となりました。

事業利益

第3四半期(3か月累計)事業利益は、生産性の向上による販管費の削減とリフォーム商材売上比率の上昇による売上総利益率の改善により、前四半期比で増加しました。3か月累計の売上総利益率は商品価格の見直し、およびリフォーム売上比率向上による売価改善により2ポイント増の35.3%と改善しました。しかし、需要減により、9か月累計では前年同期比72億円減となる452億円となりました。9か月累計の販管費は生産効率と業務効率の向上により前年同期比275億円の削減となりました。その結果、事業利益率は0.2ポイント減となる4.4%まで回復しました。

最終利益

事業利益は減少したものの、最終利益(9か月累計)は、第3四半期の予想以上の回復により前年同期比80億円(+26.1%)増の387億円となりました。

2021年3月期通期業績予想

2021年3月期通期業績見通しでは、売上収益は前年同期比8.9%減の1兆3,800億円に、事業利益は前年同期比10%増の575億円、最終利益は前年同期比163.6%増の330億円と上方修正を行います。継続的に推進してきた組織の変革や働き方改革の進展、デジタルツールの活用による生産性の向上などにより、販管費を大幅削減したことや、中高級価格帯の商品成約率の上昇による粗利率の向上が、この上方修正に寄与しました。

➤ 2021年3月期 第3四半期 事業ハイライト

中期計画のもとで、LIXILは、持続可能な成長と企業価値向上を実現すべく、利益率を向上させ、より機動的で起業家精神にあふれた組織の構築に向けて、様々な施策を推進しています。第3四半期に実施した主な施策は次の通りです。

- **組織の簡素化と基幹事業への集中**

LIXILは、[株式会社LIXILビバの売却を完了](#)し、[株式会社川島織物セルコンとジャパンホームシールド株式会社](#)の株式譲渡を発表しました。一連の売却は、事業構造を簡素化し、基幹事業への注力を図ることで、組織の統合を進め、シナジーと事業効率の強化を目指す取り組みの一環です。

加えて、持株会社であった株式会社LIXILグループと株式会社LIXILの[合併](#)を完了し、従来の持株会社体制から事業会社として運営する体制へと移行することで、より迅速な意思決定と効率的な事業運営が可能となりました。二層構造を解消することで、経営体制を簡素化し、意思決定の透明性を高め、ガバナンスを強化することができます。

- **国内事業の改革**

新設住宅着戸数の減少が続く国内市場において、競争力を強化するために、LIXILは国内組織と企業文化の変革を進めています。国内事業の活性化に向けた全社施策「[変わらないと、LIXIL](#)」のもとで、イノベーション創出と起業家精神の発揮を促し、実力主義に基づいた機動的な組織の確立を目指しています。その一環として、希望退職プログラムである「[ニューライフ](#)」を発表しました。「ニューライフ」は、従業員の社外でのキャリア形成や人生設計を支援するとともに、当社の変革のスピードを加速させることを目的に、導入されました。このプログラムには計965名の従業員が応募しました。従業員からの確かな反応は、さらなる変革の推進につながります。

- **差別化された製品とサービスの拡充**

LIXIL は、デザインの戦略的重要性を高め、その強みを最大限に生かすため、デザインの統括責任者であり、LIXIL Global Design を率いる [Paul Flowers \(ポール・フラワーズ\)](#) を専務役員 デザイン担当 (Chief Design Officer) に任命しました。Flowers は引き続きデザインチームを率いるとともに、新たにブランド・アイデンティティを担当するチームを設置し、このチームを統括する役割も担うこととなります。この新体制により、グローバルなブランド・ポートフォリオという当社の強みを最大限に生かし、ブランドガバナンスを強化することで、世界中で一貫したブランド体験の提供が可能になります。

また、LIXIL は社会的課題の解決に貢献することを目指し、製品とサービスの提供を強化しています。ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の普及をさらに促進するとともに、これからのニューノーマル時代の住まいへのニーズを見据えたより快適で安心な暮らしの実現に向け、子会社である株式会社 LIXIL TEPCO スマートパートナーズ (LTSP) にて、新サービス「建て得でんち」を開始します。指定の LIXIL 商材を採用いただいた ZEH 仕様の住宅を新築されるお客さま向けの新サービスとして、蓄電システムと太陽光発電システムをセット販売し、LTSP がお客さまの余剰売電収入をいただくことで、初期費用を低減することができます。

- **多様性の尊重**

LIXIL では、組織の変革を進め、事業戦略を推進する上で、多様性を受け入れ、尊重することを重視しています。多様性を尊重する組織風土を醸成するとともに、多様性に配慮した製品やサービスの提供を強化しています。こうした活動の一環として、第 3 四半期には、車両に搭載された移動型バリアフリートイレ「モバイルトイレ」を、トヨタ自動車株式会社と共同開発しました。このスロープ付きの多機能トイレは、車いす使用者に安心して利用していただくことができ、多様性を尊重する社会の実現に貢献しています。

さらに、LIXIL の多様性の尊重、経済、環境、社会に対する継続的な取り組みは、社外からも高く評価されています。企業の性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標 2020」における最高評価「ゴールド」を 4 年連続で受賞するとともに、国際的な社会的責任投資指標である「DJSI World Index」の構成銘柄には 2 年連続で、「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄には、4 年連続で選定されました。

■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 60,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL (証券コード: 5938) は、2020 年 3 月期に 1 兆 5,144 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト : <https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook (グローバル向け) : <https://www.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook (日本国内向け) : <https://www.facebook.com/lixilcorporation>